



社団法人
日本サウナ協会

SAUNA

8月/277号

発行所 社団法人日本サウナ協会

〒東京 03(5275)1541(直)

FAX 03(5275)1543

〒102-0085 東京都千代田区六番町1'

(番町一一番館ビル2F)



九州6県支部会員が集う。
PRタイムでは出展各社が商品情報
や担当者の自己紹介なども

山田ブロック会長あいさつ

議題は、(1)平成十一年度事業報告、(2)同会計報告、(3)平成十一年度事業計画案、(4)同収支予算案、(5)役員改選、(6)その他との六項目で、いずれも原案どおり満場一致で承認された。なかでも(3)平成十一年度事業計画では、①沖縄県支部が

九州ブロックは七月七日、鹿児島市で「平成十一年度総会」を開催。通算「第二十四回総会」となる。議案審議で平成十一年度事業計画、公営温浴施設への対応、献血キャンペーん、来年、九州ブロックの「創立二十五周年」記念として組織拡充・強化を図るなど事業方針が決まった。

記念講演は『サウナ温浴がいかに医療分野で取り上げられているか』をテーマに、鹿児島大学医学部第一内科の鄭忠和教授から、温浴療法のホットな話を伺った。また翌八日は、同市内の南風病院を訪ね医療サウナを見学した。(2・3面に関連記事)

総会は、同日午後三時三十分から、ホテルタイセイアネックスで開催された。来賓として四氏を迎える、出席者は福岡、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄と九州全六県の支部会長が顔をそろえ、会員、賛助会員を合わせ五十名を数えた。

渡辺・宮崎県支部事務局長が司会進行を務め、開会の前ツクスで開催された寺崎康徳熊本県支部会長のごめ

の西野・鹿児島県支部会長がオープニングはホスト協会の西野・鹿児島県支部会長がオーブニングを祝い、全員が黙りとうを捧げた。

い福を祈って全員が黙りとうを捧げた。

近隣支部と交流を活発に

に、当ブロックが中心的役割を果たしていることは、皆様のご尽力のたまものです。また誇りです。きょうは、日ごろから協会に対して、とくにご

の尽労のたまものです。まことに、今年一月に死去された寺崎康徳熊本県支部会長のごめ

から

協会に対する、とくにご

歓迎あいさつ。「十二年ぶりに九州ブロック総会を当地で開催します。鹿児島市は温泉どころ、また錢湯王国といわれ、その渦中でのサウナ経営の実態と、鄭先生の研究成果の医療サウナも見学してください」と、全員を迎えた。

山田・九州ブロック会長が開会あいさつ。「苦しい経営環境にもかかわらず協会活動に、当ブロックが中心的役割を果たしていることは、皆様のご尽力のたまものです。また誇りです。きょうは、日ごろから協会に対して、とくにご

の尽労のたまものです。まことに、今年一月に死去された寺崎康徳熊本県支部会長のごめ

から

協会に対する、とくにご

理解をいただいている温熱療

法の権威、鄭先生の講演。あす

は実際に南風病院で医療サウ

ナの現場を見られて、これを

大切なお土産にして、お帰り

いただきたい」と、述べた。

来賓あいさつに移り、鹿児

島県保健福祉部長(代理)岡積

次長、鹿児島県警本部刑事部

捜査二課長(代理)肥後屋課長

補佐)、鹿児島県赤十字血液セ

ンター川嶋所長よりそれぞれ

祝辞をいただいた。

この後、安谷屋・沖縄県支部

会長を議長に指名して議案の

審議に入った。

(6)その他では、来年の同ブ

ロック「創立二十五周年記念

総会」は福岡で開催すること

が決まった。

議事を終わり記念講演に移

る。鹿児島大学医学部教授の

鄭先生は一時間余にわたり、

サウナ温浴が医学、医療分野

のどのようなところで取り上

げられているか、最新の医学

研究から将来を展望して、医

療サウナは脚光を浴びる、国

民の健康保険の先行きは、サ

ウナ浴にかかる学・政・業の

合体が必要。」といった、サウ

ナ業の役割、将来展望につな

がるような話をされた。

この後、賛助会員のPRタ

イムでは、出展各社が商品情

報や担当者の自己紹介などを

行つた。

午後五時過ぎ、閉会の辞を

坂本・ブロック副会長が述べ

て総会を終了した。

午後七時から、近くの料亭

「愛」で懇親会が始まり、坂

本・宮崎県支部会長が述べ

て総会を終了した。

午後七時から、近くの料亭

「愛」で懇親会が始まり、坂

アクション起こせば変化が

「サウナ・うちなーゆ」(沖縄) 屋比久竹義社長



屋比久社長

「だまつてはおれん。何かアクションを起こさないといかん」と、沖縄の「サウナ・うちなーゆ」の経営者、屋比久竹義氏が上京。六月二十二日、協会本部・佐久間専務理事と共に下地幹郎沖縄県開発政務次官を訪ね、「公営温浴施設の低料金等の是正」を求めて陳情を行った。この経緯については九州ブロック総会で同氏から報告されたが、改めて屋比久氏から「事の成り行き」を伺つた。

「だまつてはおれん。何かアクションを起こさないといかん」と、沖縄の「サウナ・うちなーゆ」の経営者、屋比久竹義氏が上京。六月二十二日、協会本部・佐久間専務理事と共に下地幹郎沖縄県開発政務次官を訪ね、「公営温浴施設の低料金等の是正」を求めて陳情を行つた。この経緯については九州ブロック総会で同氏から報告されたが、改めて屋比久氏から「事の成り行き」を伺つた。

「どういった事態が起つたのですか。」

今年四月一日、当店から車で十分ほどのところに沖縄厚生年金余暇センターがオープンしました。既存の宿泊施設（ホテル）があつて、もちろん、その中に浴場があるのに、全く新たに立派な大型浴場を増設されました。問題は、その入浴料金が八〇〇円、しかも年会費二四〇〇円を払えば六〇〇円で利用できるという低料金の設定です。これは、こ

ちらの半値以下ですね。相手は完全にこちらのエリア内で、この低料金ですから四ヶ月にかけて、当店は非常なショックを受けました。

沖縄ではこの十年間で健康ランドという大型店が五軒もつぶれていた。端的にそれだけのリスクを負つて、民間企業が必死になつて経営しているのに、公営企業は平気で踏み付けるようなことをする。本当に腹が立ちます。

「それで、対策はどのように講じましたか。」

しばらくは影響を見ながら、いろいろと経営努力をしました。七月から入浴料金を一五〇〇円に統一し、すべてのイベント、割引制度などはやめました。従来は、月曜日はサービスデーで一二〇〇円に、また時間帯によって料金に段階をつけていました。その後、客足はかなり回復してきていますが…。

しかし根本的には、全国に広がつて民営企業を圧迫

している、こうした公営宿泊施設、温浴施設といったものは、少なくとも新設はやめてもらいたい。

もつと言えば、国のかわつたあらゆる事業、各地の方の第三セクターなど、この機会に本当に洗い直すべきじゃないかと訴えたいですね。

（七月八日）午前十時ごろから、いくつかのグループにわかれ、鹿児島市内の南風病院を訪ね、鄭先生の指導による「医療サウナ」の現場を見学できた。同病院の好意で「ぜひ一度、見学したい」という協会会員の願いが実現したもの。



鹿児島・南風病院
九州ブロック総会の翌日
（七月八日）午前十時ごろから、いくつかのグループにわかれ、鹿児島市内の南風病院を訪ね、鄭先生の指導による「医療サウナ」の現場を見学できた。同病院の好意で「ぜひ一度、見学したい」という協会会員の願いが実現したもの。

医療サウナの治療室は広く、非常に工夫していますが、とにかくレストルームはそのとくに努力しています。七月からTVコマーシャルを放映して、とにかく頑張っているところです。

医療サウナの室内は六〇度に温湯蒸気サウナ、遠赤外線高溫サウナがメインですが、とにかく女性の漢方蒸気サウナ室は二十五人ぐらいに入る大型のもので、美容と健康によいと人気があります。それと健康塩マッサージ、健康アカスリと呼んでいますが、これらは沖縄で当店が最初に始めたものです。また最近、本格的なエステ

看護婦の山下晴子さんは「ここでの治療はすごく気持ちがいいので、『南風病院のオアシス』と呼んでいます。一日、入院と外来を合わせて十人ぐらいが限度です。自宅にこんなサウナを作りたいという外来的患者さんもいます」と説

いて。お店の特色などを聞かせてください。

店のある南風原町は、沖縄県でこの四年間にいちばん人口のふえた町です。設備は、浴場では男女とも満



山下看護婦さん(中央)が説明や質問に答えてくださる

い部屋の一角にある。この部屋全体がいつも三〇度に保たれている。サウナ室は通路をはさんでベッドが二台並び、入つて左側のベッドは頭のところと、体の左側にあたるところに小窓があり付けられ、入浴中に、外から心電図や超音波検査などができるようになつて

いる。頭のところの小窓から顔が外へ出るようにベッドがスライドする仕組み。また、壁の一部はガラス張りになつていて、入浴中の患者さんを外から監視もできる。

サウナの室内は六〇度に温熱治療の効果をひき出しつづけることになる。冬は温めてた毛布をかけるほどだ。

看護婦の山下晴子さんは「ここでの治療はすごく気持ちがいいので、『南風病院のオアシス』と呼んでいます。一日、入院と外

來を合わせて十人ぐらいが限ります。自家にこんなサウナを作りたいという外来的患者さんもいます」と説

いて。お店の特色などを聞かせてください。

店のある南風原町は、沖縄県でこの四年間にいちばん人口のふえた町です。設備は、浴場では男女とも満



山下看護婦さん(中央)が説明や質問に答えてくださる

い部屋の一角にある。この部屋全体がいつも三〇度に保たれている。サウナ室は通路をはさんでベッドが二台並び、入つて左側のベッドは頭のところと、体の左側にあたるところに小窓があり付けられ、入浴中に、外から心電図や超音波検査などができるようになつて

いる。頭のところの小窓から顔が外へ出るようにベッドがスライドする仕組み。また、壁の一部はガラス張りになつていて、入浴中の患者さんを外から監視もできる。

サウナの室内は六〇度に温熱治療の効果をひき出しつづけることになる。冬は温めてた毛布をかけるほどだ。

看護婦の山下晴子さんは「ここでの治療はすごく気持ちがいいので、『南風病院のオアシス』と呼んでいます。一日、入院と外

來を合わせて十人ぐらいが限ります。自家にこんなサウナを作りたいという外来的患者さんもいます」と説

いて。お店の特色などを聞かせてください。

店のある南風原町は、沖縄県でこの四年間にいちばん人口のふえた町です。設備は、浴場では男女とも満



山下看護婦さん(中央)が説明や質問に答えてくださる

い部屋の一角にある。この部屋全体がいつも三〇度に保たれている。サウナ室は通路をはさんでベッドが二台並び、入つて左側のベッドは頭のところと、体の左側にあたるところに小窓があり付けられ、入浴中に、外から心電図や超音波検査などができるようになつて

いる。頭のところの小窓から顔が外へ出るようにベッドがスライドする仕組み。また、壁の一部はガラス張りになつていて、入浴中の患者さんを外から監視もできる。

サウナの室内は六〇度に温熱治療の効果をひき出しつづけることになる。冬は温めてた毛布をかけるほどだ。

看護婦の山下晴子さんは「ここでの治療はすごく気持ちがいいので、『南風病院のオアシス』と呼んでいます。一日、入院と外

來を合わせて十人ぐらいが限ります。自家にこんなサウナを作りたいという外来的患者さんもいます」と説

いて。お店の特色などを聞かせてください。

店のある南風原町は、沖縄県でこの四年間にいちばん人口のふえた町です。設備は、浴場では男女とも満



山下看護婦さん(中央)が説明や質問に答えてくださる

い部屋の一角にある。この部屋全体がいつも三〇度に保たれている。サウナ室は通路をはさんでベッドが二台並び、入つて左側のベッドは頭のところと、体の左側にあたるところに小窓があり付けられ、入浴中に、外から心電図や超音波検査などができるようになつて

いる。頭のところの小窓から顔が外へ出るようにベッドがスライドする仕組み。また、壁の一部はガラス張りになつていて、入浴中の患者さんを外から監視もできる。

サウナの室内は六〇度に温熱治療の効果をひき出しつづけることになる。冬は温めてた毛布をかけるほどだ。

看護婦の山下晴子さんは「ここでの治療はすごく気持ちがいいので、『南風病院のオアシス』と呼んでいます。一日、入院と外

來を合わせて十人ぐらいが限ります。自家にこんなサウナを作りたいという外来的患者さんもいます」と説

いて。お店の特色などを聞かせてください。

店のある南風原町は、沖縄県でこの四年間にいちばん人口のふえた町です。設備は、浴場では男女とも満



山下看護婦さん(中央)が説明や質問に答えてくださる

い部屋の一角にある。この部屋全体がいつも三〇度に保たれている。サウナ室は通路をはさんでベッドが二台並び、入つて左側のベッドは頭のところと、体の左側にあたるところに小窓があり付けられ、入浴中に、外から心電図や超音波検査などができるようになつて

いる。頭のところの小窓から顔が外へ出るようにベッドがスライドする仕組み。また、壁の一部はガラス張りになつていて、入浴中の患者さんを外から監視もできる。

サウナの室内は六〇度に温熱治療の効果をひき出しつづけることになる。冬は温めてた毛布をかけるほどだ。

看護婦の山下晴子さんは「ここでの治療はすごく気持ちがいいので、『南風病院のオアシス』と呼んでいます。一日、入院と外

來を合わせて十人ぐらいが限ります。自家にこんなサウナを作りたいという外来的患者さんもいます」と説

いて。お店の特色などを聞かせてください。

店のある南風原町は、沖縄県でこの四年間にいちばん人口のふえた町です。設備は、浴場では男女とも満



山下看護婦さん(中央)が説明や質問に答えてくださる

い部屋の一角にある。この部屋全体がいつも三〇度に保たれている。サウナ室は通路をはさんでベッドが二台並び、入つて左側のベッドは頭のところと、体の左側にあたるところに小窓があり付けられ、入浴中に、外から心電図や超音波検査などができるようになつて

いる。頭のところの小窓から顔が外へ出るようにベッドがスライドする仕組み。また、壁の一部はガラス張りになつていて、入浴中の患者さんを外から監視もできる。

サウナの室内は六〇度に温熱治療の効果をひき出しつづけることになる。冬は温めてた毛布をかけるほどだ。

看護婦の山下晴子さんは「ここでの治療はすごく気持ちがいいので、『南風病院のオアシス』と呼んでいます。一日、入院と外

來を合わせて十人ぐらいが限ります。自家にこんなサウナを作りたいという外来的患者さんもいます」と説

いて。お店の特色などを聞かせてください。

店のある南風原町は、沖縄県でこの四年間にいちばん人口のふえた町です。設備は、浴場では男女とも満



山下看護婦さん(中央)が説明や質問に答えてくださる

い部屋の一角にある。この部屋全体がいつも三〇度に保たれている。サウナ室は通路をはさんでベッドが二台並び、入つて左側のベッドは頭のところと、体の左側にあたるところに小窓があり付けられ、入浴中に、外から心電図や超音波検査などができるようになつて

いる。頭のところの小窓から顔が外へ出るようにベッドがスライドする仕組み。また、壁の一部はガラス張りになつていて、入浴中の患者さんを外から監視もできる。

サウナの室内は六〇度に温熱治療の効果をひき出しつづけることになる。冬は温めてた毛布をかけるほどだ。

看護婦の山下晴子さんは「ここでの治療はすごく気持ちがいいので、『南風病院のオアシス』と呼んでいます。一日、入院と外

來を合わせて十人ぐらいが限ります。自家にこんなサウナを作りたいという外来的患者さんもいます」と説

いて。お店の特色などを聞かせてください。

店のある南風原町は、沖縄県でこの四年間にいちばん人口のふえた町です。設備は、浴場では男女とも満



山下看護婦さん(中央)が説明や質問に答えてくださる

い部屋の一角にある。この部屋全体がいつも三〇度に保たれている。サウナ室は通路をはさんでベッドが二台並び、入つて左側のベッドは頭のところと、体の左側にあたるところに小窓があり付けられ、入浴中に、外から心電図や超音波検査などができるようになつて

いる。頭のところの小窓から顔が外へ出るようにベッドがスライドする仕組み。また、壁の一部はガラス張りになつていて、入浴中の患者さんを外から監視もできる。

サウナの室内は六〇度に温熱治療の効果をひき出しつづけることになる。冬は温めてた毛布をかけるほどだ。

看護婦の山下晴子さんは「ここでの治療はすごく気持ちがいいので、『南風病院のオアシス』と呼んでいます。一日、入院と外

來を合わせて十人ぐらいが限ります。自家にこんなサウナを作りたいという外来的患者さんもいます」と説

いて。お店の特色などを聞かせてください。

店のある南風原町は、沖縄県でこの四年間にいちばん人口のふえた町です。設備は、浴場では男女とも満



山下看護婦さん(中央)が説明や質問に答えてくださる

い部屋の一角にある。この部屋全体がいつも三〇度に保たれている。サウナ室は通路をはさんでベッドが二台並び、入つて左側のベッドは頭のところと、体の左側にあたるところに小窓があり付けられ、入浴中に、外から心電図や超音波検査などができるようになつて

いる。頭のところの小窓から顔が外へ出るようにベッドがスライドする仕組み。また、壁の一部はガラス張りになつていて、入浴中の患者さんを外から監視もできる。

サウナの室内は六〇度に温熱治療の効果をひき出しつづけることになる。冬は温めてた毛布をかけるほどだ。

看護婦の山下晴子さんは「ここでの治療はすごく気持ちがいいので、『南風病院のオアシス』と呼んでいます。一日、入院と外

來を合わせて十人ぐらいが限ります。自家にこんなサウナを作りたいという外来的患者さんもいます」と説

いて。お店の特色などを聞かせてください。

店のある南風原町は、沖縄県でこの四年間にいちばん人口のふえた町です。設備は、浴場では男女とも満



山下看護婦さん(中央)が説明や質問に答えてくださる

い部屋の一角にある。この部屋全体がいつも三〇度に保たれている。サウナ室は通路をはさんで

を謳歌しているような方を言ふんだそうです。

皆さんの意識しだい、思ひしだいということです。これが、この演題のとおり“意識の世界”です。

いろんなところへ講演に行きます。多いときは月に十回くらい。会場でお目にかかる皆さんは働き盛りで、生き生きしていらっしゃる方がかりです。ところが、ある日突然いろいろな病が襲ってきます。

いつ来るか分からぬ。毎日たくさんの方の相談とかが来ます。とくに私がひしひしと感じるのは、皆さんも多分ビジネスマンとして同じ立場にあると思いますが、ストレス、これが九九・九%占めるような気がします。

いろんな病気があります。

昨年でしたが、ある市役所の幹部の五十歳の方とお会いしたら「いま私は重大な状態なんですね」と言われる。事情をお聞きすると、自転車に乗って転倒し、顔にケガをした。それでレントゲン撮影したところ偶然に上頸ガンが見つかった。手術をすると顔の半分を失うことになるが、転移すればもつとひどいことになるというのです。この方は迷い抜いた末に手術をしないでいろんな療法で治したいと、果

議の筋とで吉と筋

人間は本当にすごい、不思
な力を持っております。私
教室では、肺ガンで三か月
言われたのを、気功を学ん
児服したり、奥さんの子宮
腫を十二日間で、ソフトボ
ルぐらいの大きさのものを

消してしまったり、たくさんの方々が、そういうことをできることになります。そこで、私が教室でいつも教えているのは、そういう力はだれにでもある、だから、そういう方にスイッチを入れる方法

人間の思いと意識は強い

いつ来るか分からぬ。毎日たくさんんの病氣の相談とかが来ます。とくに私がひしひしと感じるのは、皆さんも多分ビジネスマンとして同じ立場にあると思いますが、ストレス、これが九九・九%占めるような気がします。

いろんな病氣があります。

近し筋次り十三で上うな

いという状態なんです。そ
ういう話がいっぱい来ます。
私はいま五十一歳、男兄弟
一人で、私がいちばん下なん
です。その長兄が六年前に五
五歳で、心筋梗塞でぼっく
逝きました。その半年後に
兄が五十二歳で、拡張性心
症という難病で亡くなりま
した。私もその年齢に段々と
ついてきているのですが、

『意識』だと思います。ちばん大事なことは『思い』と
あまり信じません。ここで、いつも頭に描いてい
ます。私は家系というのは、違うのだ」と、いつも思つていて
ます。「自分は兄貴たちと体質が
つて、これは気のつけようがないのです。でも一つあります
と言つて、はつきり言つて、これは氣のつけようがないのです。

皆さんの意識したい、思いたいということです。これがこの演題のとおり”意識の世界”です。

敢に挑戦されている。

人間像を持て



人間は本当にすごい、不思議な力を持っております……浦田先生

を、皆さんにお伝えしていま
す。
ですから、よくテレビなど
で取り上げているような
宗教団体に入つて一千万とか
千万円とか、手からパワーが
出るとか、そんなことではな
いのです。自分の問題なんんで
す。自分のスイッチが入れば
人間はすごいことが出来るト
うになっています。何度も言
いますが、病気を作るのもや
はり“思い”であり“意識”た
めです。また治すのも“思
い”であり“意識”です。

“何かそう思う心”が
けのような気がします。
例えば、よく例に出すので
すが、コップにおしつこをさ
れて、コップの回りにウンコ
を付けて三日ぐらい置いてお
きます。これを後どんなにき
れいに洗つても、たぶんこれ
で水は飲めないはずです。ど
うでしょうか。

ですが、一般的にはすごく躊躇ひづらいはずです。ところがトイレで、お尻の後始末をしたときに、指先にウンコが付いた場合、これをきれいに洗えば、その指で平気ですしをつまむ。同じウンコに代わりがないのに、指は許せてもフップは許せないので。この違い。これが人間の常識ですから、かなりいい加減な気がします。

常にプラス意識を持つて

人と環境にやさしい

バスフルム

バスブルムはブルムを主成分とした新しい除菌剤です。目や鼻、ノドに対してマイルドで刺激が少なく刺激臭は殆んどありませんので屋内の水処理用除菌剤として最適です。

- 塩素剤(次亜塙素酸ナトリウム、次亜塙素酸カルシウム、塩素化イソシアヌール酸等)はアルカリ側では効力が急激に落ちますが、バスプロムは酸性側でもアルカリ側でも、広いpH範囲で安定

- 固形塩素剤と比較してゆっくり、しかも完全に溶解しますので安定した効果が長時間持続します。

株式会社アサヒ商会・アサヒ科学
〒468-0066 名古屋市天白区元八事四丁目164-1

つる足でも見ているだけでくつづいてきます。教室でたくさんの方があ何度もそうしたことを見て、います。ただ、人間は狭い常識を持っていますから、常識で考えられないことは、すべて否定します。

段々気のめぐりが良くなつてきますと、癒(いや)しとかいろいろなことができる。教室の女性の方でも、ご主人の肝臓がわるいので、肝臓にピュ

中学生の子供がいて、もし近視だつたら、まあ、だまされたと思って一回試してみてください。目の横のちょっととへんだところを、太陽のツボといふそうですが、ここからキユーペットと五分ぐらい気を送る気と○・一の視力が二・〇ぐらいに上がります。過去に私は一人ほど上げました。指から氣が出ていると思うだけです。ただ、自分を否定している

これは生き方の問題。最近これに関する本もたくさん出ていますが、要は、マイナス意識を捨て、常にプラスの意識を持って、毎日を生きて行くということです。あの柔道の山下さんがいいことを言いまして。言葉にはエネルギーがあるのです。柔道の試合で段々と押されてきたら、普通の監督さんは「下がるな逃げるな」と言うのですが、山下さんは

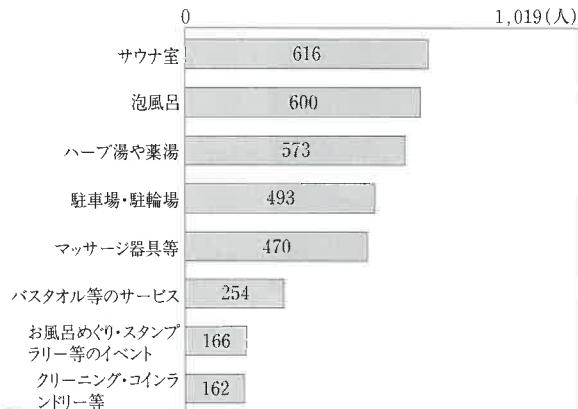
な」と「前へ出ろ」の意味は
緒ですが、エネルギーにマ
ナスとプラスの大きな違い
あります。

(6月16日、全国総会での
講演要旨)

財全国環境衛生営業指導センター（東京）のご厚意により、同センター編集・発行『環衛ジャーナル』平成11年5月号の「公衆浴場業の活性化対策一庶民にとって公衆浴場とは（アンケート調査から）」より、同じ温浴業として関心のある部分を抜粋し紹介するものです。

今回の調査は、利用者には「入浴意識と公衆浴場に対する関心度をあきらかにし、今後の利用促進の方途を把握」する。未利用者には「入浴意識と公衆浴場に対する認識を明らかにし、今後の利用の可能性を探る」のが一目的。調査時期は1993年11月。調査対象は全国30都市の公衆浴場を利用している20歳～60歳までの男女1064人。同、未利用者で同1019人。

図3 未利用者の公衆浴場に対する希望



このようない用者は、さうにどんな設備を期待しているのかは前掲のとおりであるが、その他に、休憩室での飲物、シャンプーや入浴剤等の販売については、必要・あつた方がよいと答えた人が95%と非常に高い数値であった。

のであることかわかつた。
それでは、近所にクアハウ
スがあつたら、客がそつちに
流れてしまうのではとの懸念
に、アンケート結果は、流れる
恐れのある人は三割程度の
人々との結果であった。

このことは、健康ランドや
クアハウスのあり方と、公衆
浴場のあり方が利用者ことつ
ては全く違うことか——も

ところで未利用者に対し公衆浴場を知っているか否かを尋ねたところ「この一年で行ったことがある人」が未利用者全体の中で47%、「行ったことがない」が52%となつておらず意外に未利用者の公衆浴場体験者が多いことに驚かされる。また「行ったことがない、料金を知らない人が85%となつてている。

利用者の公衆浴場の設備に対するニーズ

等々主にリラクゼーションのための設備に対するニーズが目立っている。入浴が単に身体を清潔にする目的だけならば「付属設備の増加」や「洗面化粧室の設置」の項目が多くなろうが、これは入浴に対する意識が、従来と変わってき

入浴に対する意識

利用者・未利用者の入浴に対する意識と
公衆浴場に対する意識・ニーズのかかわり

利用者の、公衆浴場を利用する理由は図1のとおりであるが、このうち家庭風呂が使えない人（無かつたり故障中など）は、利用者1064人中、445人と、全体の42%であった。

次に、利用者の利用頻度では、毎日利用する人：45%、週に2～3回利用する人：36%、たまに利用する人：19%であり、頻繁に利用している人は81%にものぼっている。

家にふろがあつてもねあわ
やお風呂屋もんに行へ。お風
呂屋さんは家庭風呂より販
売がこつ。

て公衆浴場を利用する人達の方が多くなりつつあることがわかる。

利用者の家庭風呂所有者の関係と利用頻度

図1 公衆浴場を利用する理由

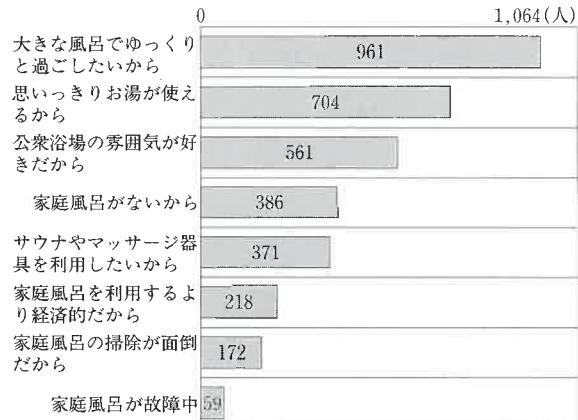
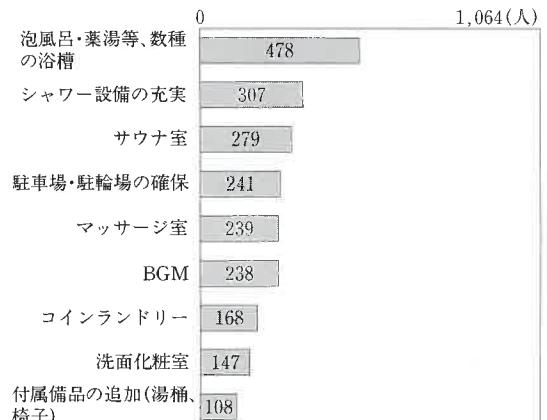


図2 新規に設置して欲しい施設・設備



「ロッキーピラミッド」は、東京ガス自慢のマイルドサウナです。室内は、体にやさしい65~80℃の中温にキープ。水打ちされたサウナストーンからはたっぷりの蒸気が立ち上ります。このマイルドな熱気と適度な湿度のハーモニーが、心地よい発汗と快適なサウナの楽しみを提供します。だから、人気もぐんぐんアップ。サウナ店での調査によると、サウナファンの間で評価が高まっていることが明らかになっており、多くのサウナ経営者の方々にも厚いご支持をいただいています。

アンケートに寄せられたお客様の声

「温度と湿度のバランスが最高」
「たっぷりと汗をかける」
「長く入っていても心地よい」

1999年3月、杉並区の有名サウナ店（ロッキーピラミッドサウナと電気式高温サウナを併設）で、東京ガスが実施したアンケート調査より。

TOKYO GAS ガスマイルドサウナ **ロッキーピラミッド**TM

1999年3月、杉並区の有名サウナ店（ロッキーピラミッドサウナと電気式高温サウナを併設）で、東京ガスが調査を実施。24時間における入場者数（サウナ店は24時間営業）を調べた。